

株式会社エス・エム・エス



安全な事業成長を支える SaaSでの機密データ通信の可視化を実現



製品 & サービス

- ・ Cisco Cloudlock
- ・ Cisco Umbrella

課題

- ・ 全社でのクラウド サービス利用をきっかけとして SaaS 上での機密データ通信内容を把握したい
- ・ 事業に即したセキュリティ ポリシーの策定と適用を行いたい

ソリューション

- ・ SaaS において「誰が」「いつ」「何をしたのか」を可視化
- ・ SaaS を含めた業務上の機密データの流れを捉え、現実的なセキュリティ ポリシー策定が可能に
- ・ 過去に遡りセキュリティ ポリシー適応状況を確認できる
- ・ DNS レイヤによる怪しい通信の自動停止

結果～今後

- ・ 重要なデータと業務の流れを特定して、事業に適合したセキュリティ ポリシーの策定および運用
- ・ 事業の成長スピードを妨げない、安全性と利便性を両立

株式会社エス・エム・エス（以下、エス・エム・エス）は、2003年の創業以来、「高齢社会に適した情報インフラを構築することで価値を創造し社会に貢献し続ける」ことをミッションに掲げ、40以上の情報サービスを提供し、急成長を続ける企業です。今回、メールやストレージなどの社内基盤がクラウド サービス利用となったことをきっかけに、取り扱う個人情報の可視化と、業務に適合したポリシー策定と運用を目指し、Cisco Cloudlock と Cisco Umbrella を導入しました。

**事業の成長スピードを妨げない、安全性と利便性の両立を目指し
SaaSでの機密データ通信の可視化を実施しました。**

——株式会社エス・エム・エス システム企画グループ 松田 勇二 氏

エス・エム・エスは、高齢社会を介護、医療、キャリア、ヘルスケア、シニアライフ、海外と捉え、介護事業者向け経営支援「カイポケ」、介護職向け求人情報「カイゴジョブ」や介護教育スクール「カイゴジョブアカデミー」など、多岐にわたる社会課題解決のためのサービスを次々に開発、運営しています。

課題

多くのサービスを開発、運営するエス・エム・エスにとって、国内で各事業の企画、開発、営業を行う社員を対象とした取り扱いデータ、特に個人情報の保護は重要な課題です。株式会社エス・エム・エス システム企画グループで情報セキュリティを担当する松田 勇二氏は、全社でのクラウド サービスの利用開始がきっかけとなった、と語ります。

「個人情報のデータベースは、これまで社内のファイル サーバで管理、運用してきました。今回、全社でさらなる業務効率化を目指して、メールやストレージなどの社内基盤をクラウド サービス利用に変更しました。これにより、誰が、いつ、何をを行ったのかをきちんと可視化して、追跡できる仕組みがより一層必要となってきました。そこで、『データの動きを把握した上で、リスクを捉えて重要な情報を守る』ことを基本戦略とし、具体的なサービス選定に進みました。」

さまざまな情報を収集し、各社の CASB ※ 製品を比較検討する中で「シスコ Cloudlock 以外の選択肢がなくなりました。」と語る松田氏は、その検討プロセスを次のように話します。

※「CASB (Cloud Access Security Broker : キャスビー)」: ユーザと複数のクラウド プロバイダーの間に単一のコントロール ポイントを設け、クラウド利用での可視化や制御を行うことで一貫性のあるポリシーを適用できるようにするソリューション



株式会社エス・エム・エス
システム企画グループ
松田 勇二 様

「まず、セキュリティ強化の観点では、メール基盤となるクラウドサービスのライセンスを上位モデルにする選択肢もありましたが、メール通信は可視化できてもストレージは追いかけるのが精いっぱい、さらにアカウント数が多いため巨額のコストがかかり、現実的ではありませんでした。また、CASB 製品の中でも端末へのインストールが必要なエージェント型は、コストそして運用の複雑さが懸念でした。その点、Cisco Cloudlock はクラウド型フル API での連携実装であり、導入と連携が容易な点を評価しました。今回はシャドウ IT 対策が主眼ではありません。あくまでもわれわれは、SaaS 上でのデータ通信の可視化によって、最適なポリシー策定および適用が可能なソリューションを求めています。加えて、クラウド ID 管理でのアカウントの動きも追跡できること、日本語対応も含めた運用面の利便性が高いこと、低コストで利用できること。そういった要件をマトリクス化すると、Cisco Cloudlock が最適と判断しました。」

また、松田氏はシスコにヒアリングする中で、Cisco Umbrella の導入も決意します。その理由について松田氏は次のように話します。

「マルウェア対策など EDR (Endpoint Detection and Response) についても必要性を感じていました。Cisco Umbrella はインターネット通信の見える化に加えて、DNS レイヤで怪しい通信をブロックでき、さらに導入や運用のしやすさ、コスト面からも魅力を感じました。」

運用工数、展開スピード、 コストの観点で、 Cisco Cloudlock と Umbrella が 最適でした

ソリューション

松田氏は、Cisco Cloudlock と Cisco Umbrella 導入による効果を、次のように話します。

SaaS において「誰が」「いつ」「何をしたのか」が見える

「個人情報など機密データの取り扱い場所については、管理権限や公開範囲などを制限して運用しています。万一、それに外れる運用がある場合は Cisco Cloudlock で検知し、適切な是正対応を促すことができます。管理画面の UI も非常に使いやすいです。契約期間中はすべてのアクティビティが残ることも、証拠管理という点で心強いです。」

SaaS を含めた業務上のデータの流れを可視化 現実的なポリシー策定にも有効

「40 以上のサービスを開発、運用しているため、そのなかで蓄積される個人情報の量は膨大です。一方、セキュリティを強化したいがために全社統制で厳しいポリシーを当てはめて、事業の成長を妨げることは避けなければなりません。その点、Cisco Cloudlock であれば現実的な業務フローと、その中での Google、Office 365、Salesforce などの SaaS におけるデータの流れを可視化することができます。そして重要ファイルの特定やユーザの危険な行動をある程度パターン化した上で、自社の業務に適合した現実的なポリシーの策定と施行ができ、さらに運用を最適化しているメリットがあります。」

過去に遡ってポリシー適応状況を確認 レトロ アクティブ モニタリング

「ポリシーは日々、実態に応じて更新されます。Cisco Cloudlock のレトロ アクティブ モニター機能を使えば、四半期に一度、最新のポリシーとその時点までの過去の運用を照合することができます。これは是正を促したものがその後、きちんと反映されているのかを見極めるために、非常に有効です。」

DNS レイヤで怪しい通信を自動停止 インシデント発生時の追跡にも威力を発揮 - Cisco Umbrella

「DNS レイヤで自動的に怪しい接続を止める Cisco Umbrella は、初期設定のみ終われば運用工数もかからず、非常に有効です。万一、インシデントが発生した際も、原因特定に効力を発揮すると思います。」

導入ソリューション

Cisco Cloudlock

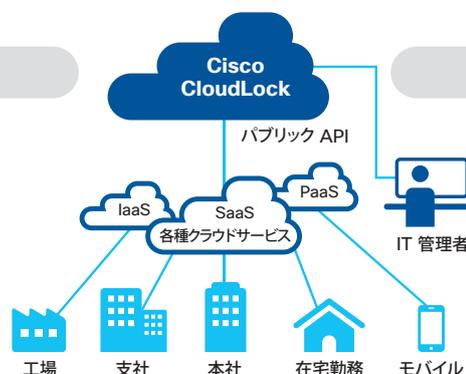
クラウドのユーザ、データ、アプリケーションを保護

Cisco Cloudlock は、クラウド ネイティブのクラウド アクセス セキュリティブローカ (CASB) であり、クラウド サイバーセキュリティ プラットフォームでもあります。Software as a Service、Platform as a Service、Infrastructure as a Service のすべてにおいて、ユーザ、データ、アプリケーションを保護します。さらに、既存の投資全体におけるセキュリティをオーケストレーションします。これにより、購入したアプリケーションや構築したアプリケーションでクラウドを最大限に活用できるようになります。

ユーザ セキュリティ
Cloudlock は高度な機械学習アルゴリズムを使用して、複数の要素に基づいて異常を検出します。ホワイトリストに登録された国以外のアクティビティを識別し、アクションを特定します。これらは距離を越えて、不可能と思われる速度で実現されます。

データ セキュリティ
Cloudlock のデータ損失防止 (DLP) テクノロジーはクラウド環境を継続的に監視し、機密情報を検出して保護します。この機能は、非常に多くの設定済みポリシーと、高度な調整が可能なカスタム ポリシーを備えています。

アプリケーション セキュリティ
Cloudlock Apps Firewall はお客様の企業環境に接続されたクラウド アプリケーションを検出し、制御します。各アプリケーションに対するクラウドソーシングによる Community Trust Rating を表示し、それらのアプリケーションをリスクに応じて禁止したり、ホワイトリストに登録したりすることができます。



Cisco Umbrella

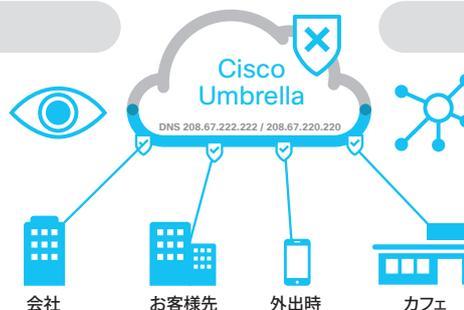
社内外すべてのユーザを守る、クラウドベースのセキュリティ

Cisco Umbrella は、DNS の設定を変更するだけで簡単に導入でき、LAN を利用するすべての社内ユーザ、リモートユーザを保護できるクラウド セキュリティ サービスです。世界最大級の解析力と情報提供体制を誇るシスコのセキュリティ インテリジェンス&リサーチ グループ (Cisco Talos) と連携し、常に最新のセキュリティを提供。お客様側でソフトウェアやデータを更新する手間がかかりません。

追加機材不要
ハードウェアが不要のクラウド サービスだから簡単に導入できます。

モバイルワーカーに最適
VPN 接続をしなくても社内と同様のセキュリティ環境を提供します。

簡単運用で負担軽減
管理サーバが不要。レポートも自動で取得でき、手軽に運用できます。



株式会社 エス・エム・エス



所在地 東京都港区芝公園 2-11-1

住友不動産芝公園タワー

設立日 2003年4月4日

代表取締役社長

後藤 夏樹

資本金 22億876万円

(2019年3月31日時点)

従業員数 連結 2,438人、単体 615人

(2019年3月31日時点)

URL <https://www.bm-sms.co.jp/>

高齢社会に適した情報インフラを構築することで価値を創造し社会に貢献し続けることをミッションに掲げ、高齢社会を介護、医療、キャリア、ヘルスケア、シニアライフ、海外と捉え、「高齢社会×情報」を切り口にした40以上のサービスを開発、運営しています。

結果～今後

「今回の導入により、日々の業務における個人情報の取り扱いボリュームが可視化でき、データの流れも把握できました。今後は、その中でも特に重要なデータと業務の流れを特定して、事業に適合したポリシーの策定および運用が、次のステップとなります。そのためにはCisco Cloudlock と Cisco Umbrella の連携に期待しています。今後も、事業の成長スピードを妨げない、安全性と利便性の両立を最優先していきたいと考えています。シスコはネットワークのみならずセキュリティにも注力して、非常に有効なソリューション、サービスを展開していることにあらためて驚きました。今回の導入に際しても多大な協力をいただきましたし、これからもより一層の連携と、有効なソリューションの提供に期待しています。」

その他の詳細情報

シスコ セキュリティの詳細は、<https://www.cisco.com/jp/go/security/> を参照してください。

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2019 年 4 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先